

令和元年度 離任式を職員のみで3月25日（水）に行いました。

新型コロナウイルスの影響で、生徒対象の離任式を行うことができず、非常に残念でした。その離任式の様子を紹介します。また、最後に離任される先生方から生徒の皆さんにメッセージをいただいています。ぜひ、ご覧ください。

離任される先生方の新天地での御活躍をお祈り申し上げます。

それでは、離任される11名の先生方の紹介をします。【 】内は教科。（ ）内は転勤先。

佐伯 鈴乃校長先生	【国語】	(退職)
米澤 俊二教頭先生	【地理歴史】	(松山中央)
水成 洋先生	【数学・情報】	(大洲)
馬詰 直人先生	【数学】	(退職)
河中 辰仁先生	【理科】	(県教育委員会)
大下 あや先生	【外国語】	(宇和島南中等)
細川 裕子先生	【家庭】	(川之石)
若下真太郎先生	【商業】	(松山商業)
岡野 博志先生	【初任者指導】	(本校 SLA)
片岡 省三先生	【事務】	(津島)
水口 幸成先生	【事務】	(退職)



※ 所用のため欠席されている先生もいらっしゃいます。

※ 職員のみのため、全日制・定時制合同での離任式を行っております。

離任者紹介の後、花束贈呈を行いました。



離任される先生方から御言葉をいただきました。



在校生、卒業生、保護者の皆さまへ

37年間の教員生活を終え、3月で退職します。教員生活の最後を、八幡浜高校という素晴らしい学校で終えることができ、感謝の気持ちでいっぱいです。

卒業式の式辞で、世界的な細菌学者、ルネ・デュボス博士の「シンク・グローバリー、アクト・ローカリー」（地球的に考え、地域で行動する）という言葉を紹介しました。

現代にあって、確かなる活路を見いだす起点は、「地域」にあります。

八幡浜高校で学んだ皆さんには、温かな地域社会や豊かな自然の中で育まれた、素晴らしい感性や人間力があります。皆さんが、地球的視野を持ちつつ、自分の置かれた環境の中で精一杯力を発揮する時、社会は困難を乗り越え、希望と活力に満ちたものになると確信しています。

今、世界は、まさに人類一丸となって、未知のウイルスと戦っています。離任式もなく、寂しい旅立ちとなりましたが、皆さんのこれからの前途が幸多きものであるようお祈りしています。

佐伯



何事にも一生懸命な皆さんの姿を見て、勇気をもらいました。自分の夢の実現に向けて、勉強に、部活動に、頑張ってください。応援しています。 米澤

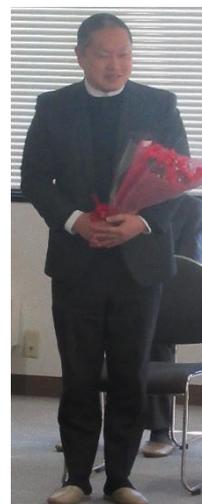


「情けは人の為ならず 巡り巡って 己が為」
この言葉は卒業生に送る言葉として、私が八高に赴任した時から「潮流」に書いている言葉です。
現代社会は自己主張が強い己(個?)の時代とも言えますが、自分勝手に相手を思いやる気持ちがなければこれからの時代は生きていけないと思います。
自己を高めるためにもしっかりと互いを尊重し、助け合う気持ちを持っていてください。 水成



いろいろな事が起きた一年間でしたね。不安で心がいっぱいになっていることと思います。現状をしっかり見つめ、満足することなく悲観することなく、常に前進しようとして心動かして下さい。身体を動かして下さい。皆さんの御活躍をお祈り申し上げます。 馬詰

あまり学校にいたことがなかったので生徒の皆さんと関わるのが少なかったのですが、毎朝いずしね館の下で皆さんが大きい声で挨拶してくれてとても嬉しく、良い一日のスタートが切れました。これからも大きく元気な挨拶で周りの人達を元気にして下さい。8年間お世話になりました。ありがとうございました。 河中





八高での日々は、生徒だった頃を思い出し、保護者となっている同級生との再会もありました。6年間、多くの方々と出会い、助けていただきありがとうございました。

生徒の皆さん、少しずつでもいい、自分の事を自分で決め、自分でできる人になれるよう、高校の3年間で大切に過ごして下さい。 細川

1年間という短い期間でしたが、大変お世話になりました。生徒の皆さんのおかげで、楽しく過ごすことができました。一緒に放課後遅くまで残って頑張った、大学入試対策（小論文・面接練習）や、検定試験の勉強が一番思い出に残っています。

皆さんとの楽しい思い出を胸に、新天地でも自分らしく、一生懸命頑張ります。生徒の皆さんも体調に気を付けて頑張ってください。 若下



5年間八幡浜高校でお世話になりました。直接授業等で接することはありませんでしたが、事務室へ清掃に来てくれていた生徒達とは、いろいろと話す事ができました。

素直な気持ちを持ち続けて、今後も頑張ってください。

片岡



新型コロナウイルス感染予防のため、生徒対象の離任式を行えなくて非常に残念です。先生方からの皆さんへのメッセージをしっかりと受け止めて、120周年に向けて更に飛躍した1年にしていきましょう。